

## 評 定 書 (工法等)

申込者 コーリョー建販株式会社 代表取締役 大田 真司 様

件 名 高強度せん断補強筋「MK785」を用いた溶接閉鎖形筋の継手工法  
(コーリョー建販(株)、コーリョー開発(株)九州工場、島根工場、静岡工場、宮城工場)

令和4年5月13日付けで評定の申し込みのあった本件については、当財団コンクリート構造評定委員会(委員長:林静雄)において審査の結果、評定申込事項に係る技術的基準に照らし妥当なものと評定します。

なお、本評定書の有効期間は、本評定日より令和9年6月20日までとします。

令和4年6月15日



記

1. 評定申込事項

本評定は、平成12年建設省告示第1463号「鉄筋の継手の構造方法を定める件」第1項ただし書きに係る評定(2020年版建築物の構造関係技術基準解説書におけるA級継手)の申し込みがなされたものである。

2. 評定の区分  
更新

3. 継手の概要 種類: 高強度せん断補強用異形棒鋼 MK785 (大臣認定番号: MSRB-0067)  
呼び名: MD10、MD13、MD16  
加工形状: 矩形(正方形も含む)、五角形、六角形、八角形、円形及び台形  
加工工場: 九州工場・島根工場・静岡工場・宮城工場

4. 変更内容

- 1) 準拠規基準等を最新版に変更
  - ・建築物の構造関係技術基準解説書(2020)
  - ・鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説(2021)
  - ・建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事(2018)
- 2) 切断機、曲げ機、曲げ切断加工機の追加および削除
- 3) 製造実績に基づいたコブ径の許容差の見直し
- 4) 品質管理体制および苦情処理体制の見直し
- 5) 品質管理工程および管理要領の見直し
- 6) 溶接作業員および検査員の社内講習の見直し

上記項目以外は既評定書(BCJ 評定-RC0410-04)のとおり

5. 備考

本評定は、設計・施工・品質管理等が適切に行われることを前提に、提出された資料に基づいて行ったものであり、個々の製品の製造並びに工事等の実施過程及び実施結果の適切性は評定の範囲に含まれていない。また、本評定は申込者による自主管理方法について行われたものであり、受入れに際しては、工事管(監)理者の判断による受入検査が行われることを前提としている。

以上